

## A . 主な動き

### 1 . 内政

#### 大統領選出に向けた動き

- ・13日、ドドン議員(社会民主党)は、与党連合A EIによる大統領プロセス再開決定を歓迎するとし、A EIが大統領候補を擁立すべきであり、その上でドドン・グループはその候補を支持するか否か決定する旨発言。
- ・13日、ギンブ自由党党首は、同党は大統領候補を擁立する意向はない旨発言。
- ・14日、A EIは、ドドン議員と大統領選出方法につき協議を開始した旨発表。
- ・16日、自由党は、選挙日程より大統領候補を先に決めるべきとして選挙日程決定のための審議を拒否、議会本会議を途中退場。17日、議会は、自由党の要求により同審議を23日に先送りする旨決定。

#### その他

- ・16日、議会新会期本会議が開始。同日、議会は、ポアレロンジ氏を最高裁判所長官に任命。16、17両日、共産党は、本会議に参加せず。

### 2 . 経済

#### マクロ経済

- ・13日、IMFは、2012年のモルドバのGDP成長率を対前年比2.5ポイント減の3.5%、消費者価格は6.5%上昇と予測。

### 3 . 外政

- ・10日、フィラト首相とイモネン駐モルドバ国連代表は、国連・モルドバ間パートナーシップに関する包括協定に署名。

### 4 . 沿ドニエストル

- ・14日、カルポフ国家再統合問題担当副首相は、キシナウにおいてブルクホルダー・モルドバ・ウクライナ国境支援E Uミッション代表と会談し、沿ドニエストル紛争解決問題に関し協議。
- ・16日、カルポフ国家再統合問題担当副首相は、ウクライナ外務省を訪問し、2月末の「5+2」者協議の準備状況につき協議。
- ・17日、プレシゲル駐モルドバOSCE臨時代理大使及びベーレンド駐モルドバEU臨時大使は、沿ドニエストルにおいて、シュタンスキ沿ドニエストル「外相」と会談し、「5+2」者協議の議題及び沿ドニエストル地域の経済状況等につき協議。

### 5 . 防衛

- ・14日、ポポフ外務・欧州統合次官は、ブリュッセルのNATO本部を訪問、モルドバ-NATO協力の展望について議論。
- ・17日、マリヌツァ国防相は、2億4,000万ドル以上の国家予算によりジェット戦闘機8機及び戦闘ヘリコプター8機を購入予定である旨発言。

本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。  
(了)